

令和7年度オープンキャンパス



香川県立保健医療大学 保健医療学研究科 看護学専攻



保健医療学研究科 看護学専攻の教育目標・構成

教育目標：人々の健康と自立の支援を基本理念とし、高度で専門的な学術理論および実践能力を修得するとともに、包括的な判断能力と指導力を有する高度専門職業人を育成する。また、新規かつ独創的な研究成果を発信する研究能力をもつ教育者・研究者を育成する。

大学院

博士**後期**課程（2名）

* 修業年限：3年

* 博士（看護学）

* **長期履修制度**があります。

博士**前期**課程（25名）

研究コース（5名）

* 修業年限：2年

* 修士（看護学）

実践者養成コース

・ **公衆衛生看護学**（10名）

・ **助産学**（10名）

* 修業年限：2年

* 修士（看護学）

* 保健師or助産師国家試験受験資格

学部

保健医療学部 看護学科

* 修業年限：4年

* 学士（看護学）

* 看護師国家試験受験資格

博士前期課程
(実践者養成コース: 公衆衛生看護学・助産学)

実践者養成コース

(公衆衛生看護学，助産学)

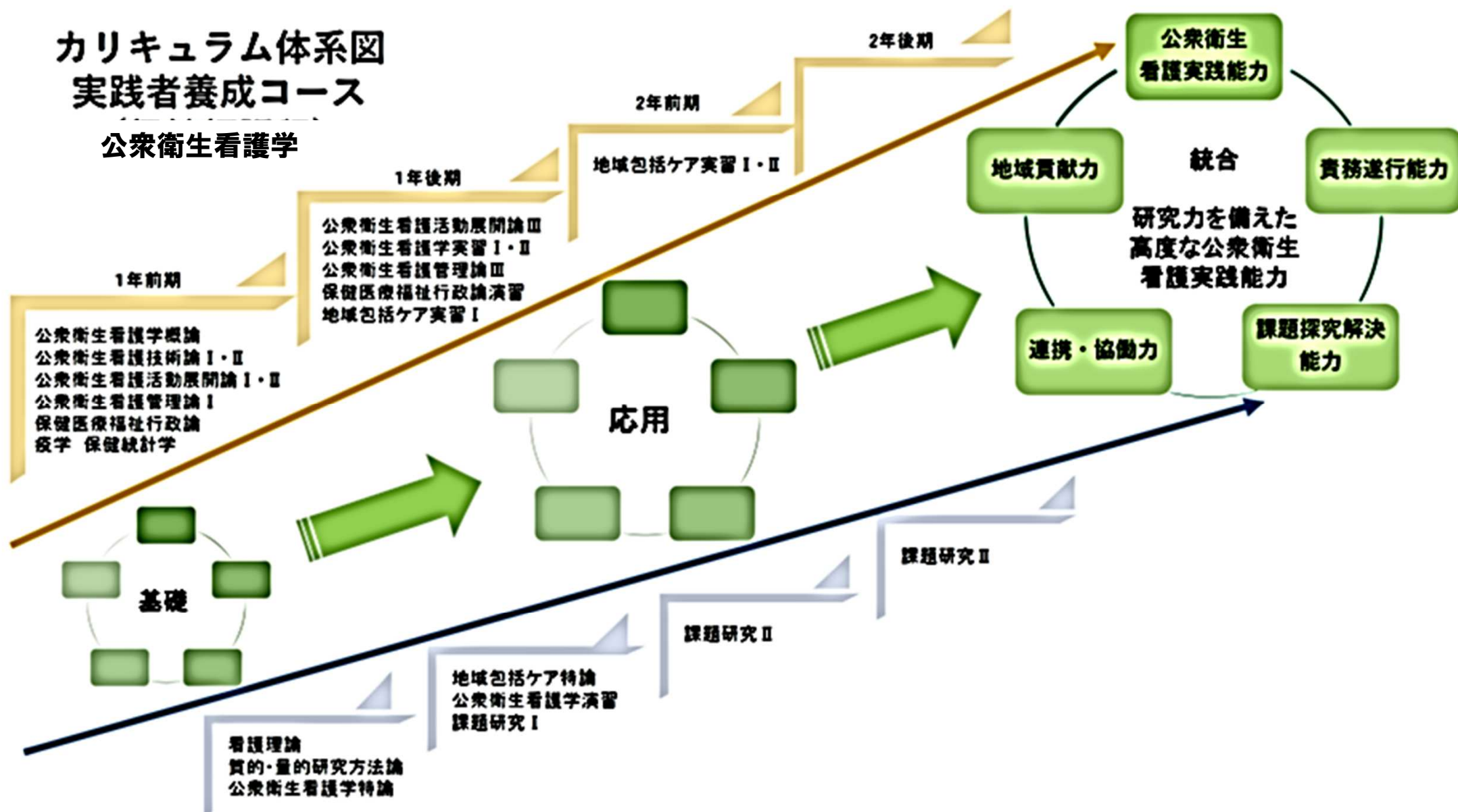
- **地域で暮らす人々の健康状態の複雑化・多様化
(新型感染症，災害，難病，精神疾患，虐待など)**
- **地域で暮らす母子と家族へのケアの必要性の増大**

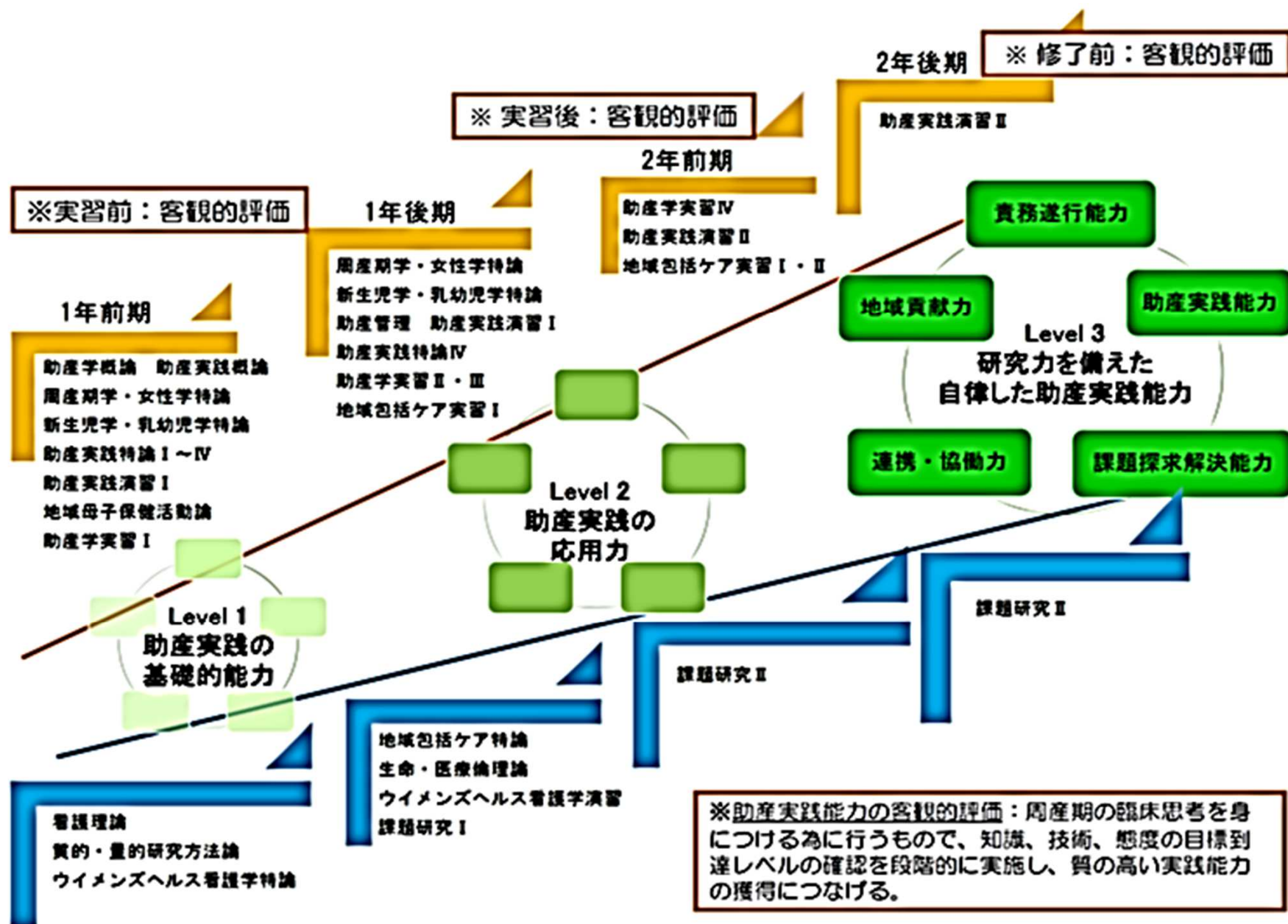


- **根拠に基づく高度な保健指導および助産の実践能力**
- **対象の自律の視点で倫理的に対応できる能力**
- **多職種連携における高いマネジメント能力**
- **看護実践を変革する能力**

カリキュラム体系図 実践者養成コース

公衆衛生看護学





博士前期課程 (研究コース)

教育目的(研究コース)

エビデンスのある看護実践を創造する基本的研究能力を身につけ、専門性の高い看護実践能力をもち、リーダーシップとマネジメント力を発揮し、地域の保健医療活動や後輩育成に貢献できる人材を育成する。

学位

修士（看護学） Master of Nursing

博士前期課程（修士課程・研究コース）

専門共通科目（16単位以上：必修6単位）

先端医学論
生命・医療倫理論
英論文作成概論

広い視野と専門性

看護理論
看護と哲学
質的研究方法論
量的研究方法論
保健統計学特論

看護研究の基盤

チーム医療特論
地域包括ケア特論
看護政策特論
看護教育学特論

リーダーシップ
マネジメント
後輩育成

専門領域科目（4単位）

基盤開発看護学領域
基盤看護学特論・演習

地域看護学領域
公衆衛生看護学特論・演習
在宅看護学特論・演習

精神保健看護学領域
精神保健看護学特論・演習

療養支援看護学領域
臨床実践看護学特論・演習
老年看護学特論・演習

次世代育成看護学領域
ウィメンズヘルス看護学特論・演習
小児看護学討論・演習

看護学特別研究

修士論文
（10単位）

博士後期課程

教育目的（博士後期課程）

実践科学としての看護学に対する深い学識をもつ自立した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者、または、看護実践の組織的指導者を育成することを目的とする。これによって、地域の看護の質向上・県民の健康と福祉に貢献する。

学位

博士（看護学） Doctor of Philosophy in Nursing Science

博士後期課程（博士課程）

【専門共通科目】 （6単位）

看護理論学
看護学発展論
看護研究方法特論



【専門科目】（2単位）

基盤看護科学特論
地域在宅看護科学特論
精神保健看護科学特論
療養支援看護科学特論
次世代育成看護科学特論

【演習科目】（2単位）

実践開発看護学特別演習
＊学術セミナー



看護学特別研究

博士論文
（6単位）

入試

入 学 試 験

アドミッションポリシーに則った選抜

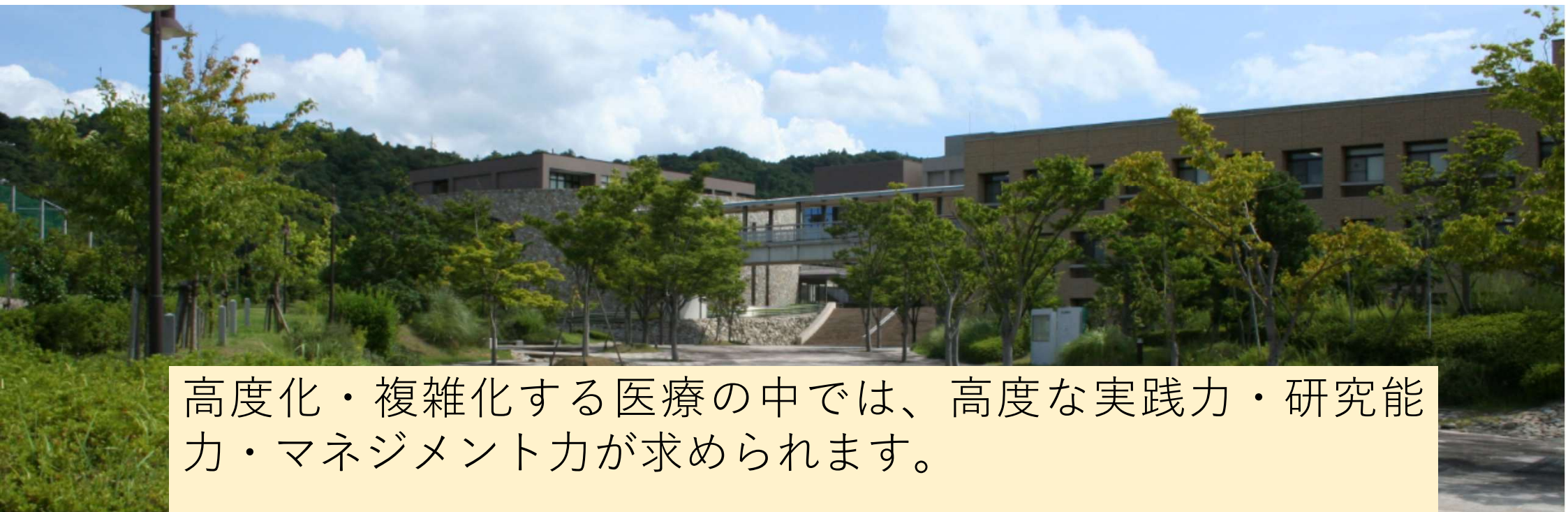
博士前期課程（修士課程）

区分	科目等	配点
一般選抜	専門科目	200
	英 語	100
	面 接	100
	合 計	400
社会人選抜	専門科目	225
	英 語	75
	面 接	100
	合 計	400

博士後期課程（博士課程）

区分	科目等	配点
一般選抜	専門科目	200
	英 語	100
	面 接	100
	合 計	400
社会人選抜	専門科目	225
	英 語	75
	面 接	100
	合 計	400

社会人選抜は、通算3年以上の実務経験が必要で、働きながら学べるように夜間・土日の授業もあります。



高度化・複雑化する医療の中では、高度な実践力・研究能力・マネジメント力が求められます。

大学院での学びは、自己の看護実践を振り返り、ブラッシュアップする貴重な時間となります。

次世代を担う学部卒業生から百戦錬磨を超えてきたエキスパートナースまで、幅広いキャリアの方々の入学をお待ちしています。